



No. 88

岡山県における子ども読書活動

推進の現状と今後の取り組み

岡山県教育庁生涯学習課

はじめに

昨年十二月の第百五十三回国会において、「子どもの読書活動の推進に関する法律」が成立し、同月十二日に公布、施行されました。

本法律は、平成十二年の「子ども読書年」を契機とした取組をさらに推進していくため、検討が進められてきたものであり、すべての子どもが自主的に読書活動を行うことができるよう、環境整備を推進することを基本理念としています。

子どもの読書活動の推進については、岡山県内においても、これまで、学校図書館、地域の公共図書館を中心に様々な取組がなされており、「子ども読書年」を契機に、子どもの読書活動に関わる方々の新たなネット

ワーク化も進んでいます。

また、本法律で定められた「子ども読書の日」においても、その趣旨にふさわしい行事(表1)が、県内各地で予定されており、子どもの読書活動の推進に向けた気運の一層の高まりが期待されています。

来年度からスタートする県の中期的なアクションプラン(行動計画)である「新世紀おかやま夢づくりプラン」においても、「心の豊かな青少年の育成」を旨とした重点施策・事業として、「子どもの読書活動の推進」が掲げられています。

今後、「子どもの読書活動の推進に関する法律」の趣旨を踏まえながら、子どもの読書活動の推進を目的とした県独自の計画を策定するとともに、新しく建設される県立図書館

を核として、学校や公共図書館、民間団体等との連携を強化し、子どもの読書活動を支援する体制づくりに努めていきたいと考えています。

市町村における子どもの読書活動推進の状況

生涯学習課が今年一月に県内全市町村を対象に行った「子どもの読書活動推進に関する調査」からは、次のような現状が分かります。

- ・ 図書館と他の機関・団体との連携
- ・ 協力的体制(表2)

「連携・協力を行っている」と回答した市町村は四十七あり、平成十一年度の三十四と比べかなり連携が進んでいることが分かります。

また、連携・協力的先については、学校や保育園・幼稚園が三十六といちばん多く、次いで文庫等民間団体の三十一となっています。

子どもの読書推進にかかわっている民間団体

家庭及び地域文庫、母子グループなど、県全体で八十三のグループ・団体が、図書館や公民館図書室等を拠点として、読み聞かせやストーリーリング、紙芝居、絵本の研究等の活動を展開しています。

代表的な事例を一つ挙げる項目では、全体で五十の事例中、二十九が文庫等民間団体との連携によるもの

でした。平成十一年度の事例では、全体の四分の三が学校や幼稚園との連携であったことから、この二年間で、民間団体の活動が広がるとともに、図書館や公民館等と民間団体との新たな連携体制づくりが進んだことが分かります。

活動内容としては、平成十一年度は、学校等への団体貸出が中心でしたが、民間団体との連携が進む中で、子どもたちを対象とした内容豊かな行事、出前文庫など、活動内容の充実が図られていることが分かります。

図書館の今後の取組(表3)

図書館の今後の取組の方向性として最も多かったのが、十五の市町村から回答のあった「保育園、幼稚園、学校との連携」と「本に親しむ機会の充実」、次いで、「ボランティア団体等との協力」「図書、資料の充実」でした。特に図書館のある市町村からは、「ボランティアの養成、支援」が、今後の課題として最も数多く挙げられており、図書館や公民館等が中心となり、いかに学校や地域のボランティア団体等との連携を深め、子どもの読書を支援する体制整備を図っていくのが大きな課題であることが分かります。

(表1)「子ども読書の日」の趣旨にふさわしい事業として実施を予定している事業

	取 組 名	期 日	場 所
1	世界お話めぐり - 「子ども読書の日」 -	4 / 20 ~ 27	岡山県総合文化センター
2	こどもえいが会	4 / 20	岡山市立中央図書館
3	えほんのじかん	4 / 24	〃
4	かみしばいのじかん	4 / 25	〃
5	にんぎょうげき	4 / 27	〃
6	おたのしみ会	4 / 27	岡山市立幸町図書館
7	親子おたのしみ会	5 / 10	〃
8	腹話術	5 / 11	〃
9	子ども読書の日制定記念行事～ブラックライト紙芝居を見よう～	4 / 23	倉敷市立中央図書館
10	子ども読書の日制定記念行事～おはなし会～	4 / 23	倉敷市立水島図書館
11	子ども読書の日制定記念行事～おはなしひろばスペシャル～	4 / 23	倉敷市立児島図書館
12	子ども読書の日制定記念行事～小さな子のためのおはなし会～	4 / 23	倉敷市立玉島図書館
13	作って あそんで おはなしいっぱい	4 / 27	津山市立図書館
14	しかけ絵本いっぱい	5 / 8 ~ 5 / 27	〃
15	親から子へ読み継がれる本	4 / 23 ~ 5 / 30	井原市立図書館
16	子ども読書会	5 / 11	新見市立図書館
17	「子ども読書の日」ピーアール広報	4 / 17	加茂川町教育委員会
18	絵本読み聞かせ会	4 / 20	赤坂町中央公民館
19	おはなしたまてばこ	5 / 11	熊山町立図書館
20	研修会「一日一読のこころを伝えよう」	4 / 24	邑久町立中央公民館
21	わくわく図書室デー	4 / 27	長船町中央公民館
22	講演会「絵本へのいざない」	4 / 21	瀬崎町中央図書館
23	本はとってもたのしいよ!	4 / 22 ~ 26	早島町立早島小学校
24	子ども読書の日	4 / 23	清音村立清音小学校
25	マットせんせいといいごであそぼう	4 / 25	船穂町立図書館
26	吉備っ子読書の日	4 / 23	金光町立金光吉備小学校
27	紙芝居とおはなし会	4 / 21	鴨方町立図書館
28	おはなしたまてばこ・春	4 / 3	やかげ文化センター
29	子ども図書館フェスティバル	5 / 12	美星町中央公民館
30	親子で楽しむ読み聞かせの会	4 / 19 ~ 20	真備町立図書館
31	図書の読み聞かせの会	4 / 27 (28)	口マン高原賀陽総合会館
32	読書指導	4 / 21	湯原町公民館
33	全校一斉読書の日	4 / 23	中和村立中和小・中学校
34	奈義町立図書館	4 / 23 ~ 5 / 12	奈義町立図書館
35	子ども読書週間事業	4 / 23 ~ 5 / 12	作東町立図書館
36	夏期休暇中土曜日・日曜日・祝日 図書館開放事業	7 / 20 ~ 8 / 31	英田町公民館図書室
37	おはなし会・しかけ絵本展・よみきかせ	4 / 20 ~ 5 / 14	久米南町図書館
38	1学期読書週間 朝読書タイム	4 / 23 ~ 5 / 10	久米南町立神目小学校
39	読書集会	4 / 23	久米南町立誕生寺小学校
40	読み聞かせの会	4 / 20	久米町立図書館

子どもの読書活動推進に向けた 今後の取組の方向性

県では、これらの状況を踏まえ、今後次のような取組を行っていきたいと考えています。

県立図書館の整備・充実

平成十六年に開館する新県立図書館では、市町村立図書館の児童サービスの発展のため、児童資料部門を新設し、児童書等に関する情報の収集、伝達、調査、研究などの支援を行うこととしています。

また、子ども向けの資料の収集・提供に努めるとともに、開館に向け、協力用(配本用)図書の計画的な充実に努めています。

心の豊かな青少年の育成に向けた 施策

先述の「新世紀おかやま夢づくりプラン」を踏まえ、心の豊かな青少年の育成に向け、乳幼児健診時に優良図書配付等を行う「ブックスタート」の全国的な展開に向けた普及・啓発を行うとともに、学校での「朝の一 分間読書」を奨励し、読書習慣の基礎を養うなど、学校教育と社会教育が連携した取組を進めていきます。

子どもの読書活動を支援するネット ワークづくり

平成十三年度の岡山県図書館職員

(表3) 地域全体での子どもの読書活動支援に向けた図書館(教育委員会所管の読書施設)の今後の取組

図書館設置市町村	未設置市町村	全 体
<ul style="list-style-type: none"> ・保育園、幼稚園、学校等との連携 (9) ・本に親しむ機会の充実 (7) ・読み聞かせ会、読書指導など主催講座の充実 (7) ・ボランティア団体との協力 (8) ・地域全体で考えていく体制づくり (2) ・ボランティアの養成、支援 (4) ・図書、資料の充実 (4) ・広報紙、イベント開催等によるPR (3) ・地域全体で考えていく体制づくり (3) ・巡回文庫の充実 (2) ・利用しやすい環境づくり (2) ・出前講座の充実 (2) ・親への読書指導 (1) ・司書の資質の向上 (1) ・休館日の開放 (1) ・ブックスタート事業 (1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・本に親しむ機会の充実 (8) ・読み聞かせ会、読書指導など主催講座の充実 (6) ・保育園、幼稚園、学校等との連携 (6) ・広報紙、イベント開催等によりPR (5) ・利用しやすい環境づくり (5) ・開館日・開館時間の再検討、施設の充実 (4) ・図書、資料の充実 (4) ・ボランティア団体との協力 (3) ・ボランティアの養成 (2) ・中央館と地区館の連携 (2) ・子育て支援事業との連携 (1) ・地域のとの連携 (1) ・親への読書指導 (1) ・リクエストへの対応 (1) ・学校図書館の開放 (1) 	<ul style="list-style-type: none"> ①保育園、幼稚園、学校等との連携 (15) ②本に親しむ機会の充実 (15) ③ボランティア団体等との協力 (11) ④図書、資料の充実 (8) ⑤広報紙、イベントの開催等によるPR (8) ⑥ボランティアの養成、支援 (6)

(表2) 図書館(教育委員会所管の読書施設)と他の機関・団体との連携・協体制

	公共図書館 設置市町村 (回答37/37)	未設置市町村 (回答38/40)	全 体 (回答75/77)
連携・協力を 行っている	34 (92)	13 (34)	47 (63%)
行っていないが 必要は感じている	2 (5)	14 (37)	16 (21%)
行っていない	1 (3)	11 (29)	12 (16%)

連携・協力先(複数回答)

	設置市町村	未設置市町村	全 体
学校、保育園、幼稚園	28	8	36
民間団体	22	9	31
その他	6	0	6

その他は、母子クラブ、幼児クラブ、児童クラブ、大学・高校等

等研修会では、「地域における子どもの読書環境の充実に向けて」をテーマに、先進事例の発表と情報交換を通して、関係者間の相互理解を図ることができました。

今後とも、このような、子どもの読書活動に関わる方々が一堂に会してこれからの連携・協力の在り方について協議する場の充実に努めていきたいと思えます。

また、新県立図書館では、ボランティア養成講座の開催による人材育成やボランティア団体とのネットワーク構築など、協体制づくりについて検討していく予定です。

おわりに

子どもの読書活動―それは、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの。

今後、子どもたちの健やかな成長に向け、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進していきたいと思えます。

第一回 ブックスタート 全国大会に参加して

前田 祐子

「ブックスタート」ってどんな運動？と多くの方が思われているでしょう。これは絵本を普及する運動でもありませんし、読み聞かせを義務づけるものでもありません。

赤ちゃんの成長にはまずミルクが必要のように、赤ちゃんのことばと心を育むためには、抱っここの暖かさの中で優しく語りかけてもらう時間が大切だと言われます。ブックスタートは、赤ちゃんが肌の温もりを感じながらことばと心を通わす人がお父さんだったり、お母さんだったり、そんなかけがえのないひとときを「絵本」を介して持つことを応援する運動です。

去る二月七日(木)、東京千代田区公会堂で、「第一回ブックスタート全国大会」が開催された。約百八十自治体、約百二十名の図書館ボランティア、団体等の参加があった。

この大会の目的は、赤ちゃんにとってことばと絵本がどのような意味を持つのかということを改めて考え、この一年間の各地域の実践を報告し、「ブックスタート」をより深く知り、運動が将来に向けてさらに発展して行くために行われた。

午前の部は、「赤ちゃんにとっての絵本」をテーマにシンポジウムが開催された。シンポジストとして岡崎義子氏(高槻文庫連絡会代表等)、正高信男氏(京都大学書長類研究所助教授)をお迎えし、岡崎氏から絵本の読み聞かせ、語りかけ、わらべうたの実践、現場からの豊富なエピソードを聞く。

また、正高氏は、子どもがことばを記憶する、学習するためには親たちはどんな行動をとればいいのかを学術的背景から述べられた。

親がこの本はとてつもらない絵本だと思っても子どもが興味を持った絵本は繰り返し読んでやるのが大切であり、絵本の嫌いな子どもはいないと力説され、特にお父さんの家庭内で接する時間、家庭内参加をお願いしたいと言われた。

午後の部は、愛知県幡豆町立図書館、岡山県西栗倉村、北海道恵庭市立図書館から事例報告があり、ブックスタート事業の取り組みの苦労話から効果、今後の課題等の発表があった。

最後に、ブックスタートは、今まさにスタートしたばかりです。この運動の性格を理解し、地域の工夫や情報交換されることで、発展することが望まれます。

(まえだ ゆうこ:岡山県総合文化センター)

ウチの

れぶあれんす

第5回 子ども室のレファレンス
倉敷市立児島図書館の巻

子ども室奮闘記 - 総合学習と図書館 -

奥田 鈴美

「由加山の本がありますか」
ある中学校の一年生のうち百人くらいが、「由加山」についてのレポートを書くべく参考資料を求めて、図書館にやって来ました。「由加神社」「狛犬」「おさいせん」など、グループごとにテーマを決めて資料を探します。郷土資料や、民族学・宗教・百科事典などの棚へ案内し、書庫からも関連本を持って来ると、ありがとうございませうと、元気のよい声が返ってきます。中にはインターネット体験コーナーで検索する生徒もいて、図書館の中はやんややんやの大盛況。その後、この中学校では「由加山レポート」の学年発表会が行われたそうです。

今春からすべての小中学校、来春からは高校で、自ら学び自ら考える力を身につけさせることを目的とした「総合的な学習の時間（総合学習）」が始まります。それに先立ち、試行的に行っている学校も多いようです。図書館を利用してくれる姿がよく見られます。

これまでも、子ども達は毎年同じようなテーマを持って図書館にやって来ました。それに対応できるように、倉敷市の四つの図書館とライフパーク図書館の子ども室担当者は、年三回の司書会の中で、資料の比較検討の時間をとっています。

これは、図書館でよく聞かれるテ

「マを毎回一つ選んで、各館ごとに二十冊程度の本について、書名・著者名・出版社・発行年・分類・内容・気づいたことなど」を一覧表にしたものを持ち寄り、内容を比較しようものです。これまでに、子ども向け百科事典、地雷、バリアフリーをめざす本など十一のテーマについて話し合いました。今までは書名だけで選んでいた、ざっと見ただけだった資料を何冊も比べてみることで、こちらの方が詳しいとか、図や表がわかりやすいとか、具体的に書かれているといった事がよくわかりました。子ども達によりわかりやすい本を提供するために、これからも続けていきたいと思っています。

児島図書館には、学校司書の方もよく来られます。調べ学習の本を集めるお手伝いをしたり、子ども達からの質問の答えを一緒に探したりして、日常業務の中でのやりとりはあつたのですが、用意した本への子ども達の反応や、どんな本が役に立ったか等教えてもらったり、学習目標や子ども達の状況を知る機会を持たせたいと、常々感じています。調べ学習や総合学習の時間がますます増えるこれからは、学校司書の方と一緒に研修したり、意見を交換したりするような場を持ちたいと思います。

また、児島地区のほとんどの小学校の三年生が、毎年四月から六月に

かけて図書館見学に来てくれます。図書館全般の説明をした後、クラスごとに館内を案内して歩き、その後一人数冊ずつ本を借りて帰ります。この時、書庫で「昭和四十八年の開館当時から読売新聞を、全部保管してあります。みんなの生まれた日の新聞もあるよ」と現物を見せながら言うのと、必ず「へえっ」と驚きの声があがります。そして数年後、中学生になった彼らが、夏休みに、自分の年表をつくるという宿題で図書館にやって来て、書庫から大量の新聞を出してもらっていました。図書館見学時にまいた種が、数年後に芽を出したようで、とてもうれしい出来事でした。見学时に、「図書館って楽しい所なんだ」とか「いろんな資料があつて、知りたいことは何を聞いてもいいんだな」と思ってもらえれば、図書館は「気軽に利用できる身近な存在」になれるのではないのでしょうか。

最後に皆さんにレファレンスです。昔話の絵本(?)で、「たんすの四つのひきだしをあげたら、順番に春夏秋冬の風景があらわれる…」これは何というお話でしょうか? 「みるなくら」「つぐいすの一文銭」ではないそうなのです。御存じの方は、ぜひ教えて下さい。

(おくだ すずみ:倉敷市立児島図書館)

会員の声 1

近ごろ思うこと

岩田 迪子

情報技術(IT)の驚異的な発達、図書館においてもサービスの領域の広がりと利便性をもたらし、利用者の増加を促しています。それとともにカウンターでの対応は時間に追われる日々となっています。

そんなある日、一利用者が「動作は鈍くなったし、コンピュータもできないし、お忙しそうだから」と話され、いつの頃からか、昼間ではなく六時を過ぎて来館されるようになりました。対面でゆつくりと話されながら資料を求められます。

社会は急速に高齢化が進んでいます。交通機関や建物のバリアフリー化は進んでいます。その割に情報伝達に関する対応はまだまだです。

人生八十年時代。IT機器やスピードに馴染めない高齢者の人達が気軽に利用できる図書館、バリアから一歩進めて全ての人に優しく、利用しやすい「ユニバーサル」な図書館が求められてくるのではないのでしょうか。

歳をとっても利用し易い図書館があればいいのと思う今日この頃です。

(いわた みちこ:岡山県総合文化センター)

会員の声 2

名残はつきねど...

高本 靖子

昨 年末をもって、図書館の仕事
を退きました。思えば十九年
長かったような、短かったような
県下の公立図書館では、初めての
の電算化とあって、落成式には当
時の長野知事も来られました。そ
の時の写真を手に感無量の思いで
す。

コンピュータのいろはも分からぬまま、ここを押せばこうなる式の勉強でカウンター業務をしたのを懐かしく思い出します。あれからの日進月歩の機械化には目を見張ります。なるほど便利でスピーディーですが、下手をするとキカイ様に使われるはめになってしまいうそです。くわばら、くわばら。利用者も随分変わりました。当初は子どもや女性が多かったのですが、いつの間にもや男性も増えて、政治・経済の本も増えて、すべてに幅がで、嬉しい事でした。

増えたといえ、雑誌も随分増えました。今では常連さんが、いっしょ囲気で雑誌コーナーでくつろいでくださっています。

私はこんな図書館が好きでした。本に囲まれて働ける幸せを感じていました。ありがとうございました。

(たかもと やすこ:元幡方町立図書館)

会員の声 3

電算化に思うこと

相見 真寿美

市 立図書館より新見公立短期大
学図書館に移動してもうすぐ
三年が経ちます。

最初は図書館相互利用の方法すら解らず、他大学の司書の方には大変ご迷惑をおかけしたと思います。インターネットやEメールなど大学にきて初めて体験したこと
も少なくありませんでした。

現在、今年の四月よりパソコンによる圖書の貸出・返却が出来るよう準備中です。

平成十二年四月の学内LANの開始に伴い図書館業務の電算化を計画した訳ですが、それから約二年間の準備期間が必要だったのは自館でのデータ入力やバーコード貼りという作業が思ったより大変だったからです。

かつて『岡山のとしよかん』五十二号(平成元年)の図書館案内に載った「図書館電算化システム」とか「情報ネットワーク」という縁遠い言葉を耳にしながら将来機械化、OA化される日も近い事を期待しつつ...との文面を見てみると感慨深いものがあります。

(あいみ ますみ:新見公立短期大学図書館)

会員の声 4

岡山一宮高校図書館のシステム化について
川合 博子

当 館では、現在システム化導入の準備に追われています。昨年未には、約三万二千冊の圖書を、図書委員と共に表紙とカバーを糊付けする作業を行いました。今は、バーコードを添付する作業の真最中です。一、二年生合わせて三十六人の図書委員に作業を分担してやってみています。最初の頃は、期日までみんなちゃんとやってくれるかどうか心配でしたが、そんな私の不安をよそに、助っ人に自分の友達を呼ぶなどして、大量のノルマを精力的にこなしてくれました。

バーコード貼りが終われば、次はいよいよ遊及入力です。今度は入力できるパソコンの台数も限られており、今までのように大人数ではできません。それに来年度は授業時間の延長のため、委員会活動のできる時間も大幅に少なくなります。

前途は多難ですが、早く稼働にこぎつけるよう、図書委員と共に頑張りたいと思います。また、皆様に分からないことをお聞きするなどご迷惑をおかけするかもしれませんが、どうぞよろしくお願いたします。

(かわい ひろこ:県立一宮高等学校)

ニュース

日産岡山が絵本を寄贈 岡山県内50図書館へ

(山陽02・1・11)

玉野市立図書館 としょかんまつり 親子ら150人が歓声 1月13日市総合文化センターで開催 いろんな紙芝居楽しかった

(山陽02・1・16)

全校図書館へ新聞を 岡山県NIE推進協 県教育長に要望書

(山陽02・1・16)

瀬戸町立図書館 利用者の利便性向上を 増改築始まる 蔵書増や施設整備 2月1日から休館4月オープン目指す

(山陽02・1・19)

津山ライオネスクラブ 津山市立図書館へ5万円を贈る

(津山朝日02・1・23)

早島で180人参加 子ども議会 信号や陸橋つくって 図書館開館時間延長も

(山陽02・1・31)

愛らしさうり二つ「ミス岡山」と「ミス金光」初対面 金光図書館で「友情の人形再会展」

(山陽02・2・6)

貸し出し1万冊突破 昨秋開館の哲西町図書館 哲多の女性に図書券贈る

(山陽02・2・10)

学校図書館蔵書 5カ年で4千万冊整備へ 文部科学、総務省 (毎日01・12・11)

日誌

1・13 岡山県図書館協会ホームページの開設

2・6 岡山県図書館職員等研修会 (会場：生涯学習センター)

2・13 岡山県電子図書館研修会 (会場：岡山大学附属図書館)

2・28 『岡山県図書館便覧』発行

3・5 ホームページ作成講座(基礎編) (会場：生涯学習センター)

3・7 第三回企画委員会 (会場：県総合文化センター)

表彰

当協会会員で、子どもと本 おか

やま 代表犬飼明子氏が、平成十三年度の社会教育功労者として文部科学省より大臣表彰を受けられました。

犬飼氏は長年にわたって、子どもと本を結びつける様々な活動に精力的に取り組んでいらつしやいます。その御功績に対しての表彰で、十一月に表彰式が行われました。おめでとう

ございます。

事務局から

会費の納入はお済ですか

平成十三年度の会費が未納の方は大至急、お納めください。

尚、平成十四年度の会費額は今年度と同額です。個人会費は九〇〇円、施設会費Aは一七〇〇〇円、Bは一〇〇〇円、Cは六〇〇〇円、Dは三〇〇〇円。

直接納入の場合

〒703-8235

岡山市原尾島3-2-2

岡山県総合文化センター分室内

岡山県図書館協会事務局

振込の場合

郵便振替

口座番号01370-9-9595

加入者名 岡山県図書館協会

払込人の記入をお忘れなく。

平成十四年度全国研究集会等

全国大会

10・23～25 群馬県前橋市

整理部門

9・19～20 秋田県秋田市

参考事務分科会

10・10～11 三重県津市

奉仕部門

10・17～18 埼玉県さいたま市

児童図書館分科会

11・14～15 熊本県熊本市

創立五十周年記念誌の作成にむけて、各図書館・施設の十年間の活動を年表として提供していただいています。この十年、新しく十九館の町立図書館ができ、公立図書館は二十七館から四十六館となりました。大学図書館では新築や増改築がなされ、新たな情報提供のシステムが導入されてきています。また、大学図書館の地域への開放が進み、公共図書館と大学図書館の連携は一層深まってきました。年表を通してこの十年間の姿が見えてくることでしょうか。情報を御提供くださった方々、御協力ありがとうございました。

平成十四年三月三十日
〒七〇〇・〇八一四
岡山市天神町八・五四
岡山県総合文化センター内
岡山県図書館協会

会長 広 江 寿 彦
☎(〇八六)二二四・一二八六
(内二四五)